

互いに学び合い、生徒個々の学習の充実を図る学級活動の実践

【加須市教育委員会】

1 学校、学年、教科 中学校、第2学年、特別活動（学級活動）内容(3)学業と進路

2 ねらい



学習の充実を図るために必要な学級の学び合い高め合う風土を醸成するとともに、互いのよさを知り、自己の学習の充実を図る。






3 取組内容

(1) 事前の指導と生徒の活動

- ①生徒は、学習に関するアンケートに回答する。アンケートは、教師が回収し、生徒の実態を把握する [帰りの会 学級全体]
- ②アンケートの結果を集計し、学級活動の流れを検討する [放課後 学級活動委員会]
- ③パネラーの発言内容等について検討する [放課後 学級活動委員会]
- ④本時の予告をし、テーマへの意欲付けを図る [帰りの会 学級全体]

(2) 本時の展開

過程	活動の内容	○指導上の留意点 ◎目指す生徒の姿	資料等
活動の開始	1 はじめの言葉 《司会進行：学級活動委員》 2 学級活動委員の紹介 3 活動テーマの確認 4 教師の話 5 アンケート結果の発表 6 課題の分析と解決の手だての発表 	○これまでの行事に対する学級の取組のよさを述べながら、これまでの学業の充実に関する授業も踏まえて学習に対する意識も高められるように話す。 ○必要に応じて、悩みの解決を目指し、本時のテーマについて確認できるように補足する。 ○本時のねらいにアプローチするように助言する。 	学級活動カード 発表資料（掲示物）
活動の展開	7 苦手教科克服を目指した話合い（パネルディスカッション形式） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> パネラーによる苦手教科（ベスト4）克服法の発表《数学・英語・社会・国語》 ※パネラーについては、アンケート結果から学級活動委員会にて </div>	○生徒に司会（コーディネーター）を任せるが、担任は状況に応じて指導助言する。 ○パネルディスカッション形式を用いることで、生徒が自主的、自発的に活動できるように配慮する。 ○学習の悩み解決に必要な学習環境の整備・スキル等について学級全体で考えることで、自己決定に結び付けられるようにする。 ◎パネラーは、発表を通して自己を表現しようとしている。 【観察】〈思・判・実〉	各自資料 学級活動カード

	<p style="text-align: center;">選出</p>  <p>8 グループ討議</p> 	<p>◎自分にふさわしい学習方法を級友の発表を基に考えている。【観察】〈思・判・実〉</p>   <p>○パネラーの意見を参考にして、学級活動委員会を中心に班内で意見交換を行う。 ◎学習方法を身に付けようとしている。 【学級活動カード】〈関・意・態〉</p>	<p>学級活動カード</p>
<p>活動のまとめ</p>	<p>9 自分の具体的な実践方法の決定</p>  <p>10 教師の話 11 おわりの言葉 (学級活動委員)</p>	<p>○できるだけ具体的な実践方法について記述するように助言する。</p> <p>○将来の生き方と進路の選択について触れ、今自分は何が大切なのかを考える。 ○行事だけでなく学習面でも高め合い、学び合うことのできる学級を目指し、自分自身を高めていこうとする一人一人の意識の高まりの大切さ・重要性について話す。 ◎パネラーの発言を通して、その考えやよさを理解できる。 【学級活動カード】〈知・理〉</p>	<p>学級活動カード</p>

(3) 事後の活動と生徒の活動

- ①学級活動カードを回収し、まとめを行う。教師はコメントを付けて返却する。これを基に学級活動委員会で掲示物を作成する。
- ②本人が表した感想や実践事項については、本人の了解を得て次回の学級活動で発表する。また、学級通信等で保護者にも伝えていく。

4 成果 (○) と課題 (●)

- 自己の学習が充実し、家庭からも学習を進んで行うようになったとの声を聞くことができた。
- 一般的に行事では目標を設定し、協力し合い、取り組みやすいが、あえて学習について学級全体で真剣に取り組むことで、行事等で培ったものを深め、高め合う雰囲気を醸成することができた。
- 普段の生活では知り得ない友人の学習法について知ったことで、意外な一面を知り、互いを認め合う雰囲気ができた。これにより、生活集団が本当の意味での学習集団となる上での一助となった。
- 学習の充実を図るための機会を定期的に設定していくための工夫が必要である。
- 学習意欲が乏しい生徒への指導と家庭との連携の在り方を探る必要がある。